

にも 通 信

Vol. 05

令和4年度 第1号
令和4年6月1日

にも
包括

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らせることができるよう、
包括的なシステムを構築していく取り組み

“民のチカラ”

新緑が眩しい季節となりました。さわやかなそよ風が市役所前の通りを吹き抜けています。時が過ぎるのは早いもので、にも包括の取組（構築推進事業）も4年目を迎え、にも通信も第5号となりました。

令和3年度は、長期入院者の地域移行を実現するため、ピアサポーターを活用した取組やアウトリーチに関する研修会の開催、事例検討などを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、対外的な取組が制限されたことから、ReMHRAD（地域精神保健医療福祉資源分析データベース）や630調査等を用い、データ分析を丁寧に行い、システム構築に向けた本市の課題整理を行いました。また、広域・密着アドバイザーからの意見を踏まえ、これまでの取組についての評価を行いました。

その結果、顔つなぎや情報共有に留まらず、より活性化させる仕組みづくりが必要であること、各会議体の連動、そしてその土台としての現場や民間、地域の意見を聞くなど、中長期的な視点で“民のチカラ”を借りながら進めていくことが大切であることを確認しました。

昨年、一昨年は書面会議とした構築推進連絡会議も今年度は対面での開催ができるよう準備していきたいと考えております。

課 題

- ・精神保健福祉審議会、自立支援協議会、協議の場（にも包括）など、それぞれが連動していくことが望ましい
- ・今後どこに力を入れていくのか、優先して取組むべき課題を定め、協議、議論していく仕組みが必要
- ・「課題共有」とそれに向けた「課題解決の方策」を、地域の支援者全体が主体的に行動していく工夫が必要
- ・地域包括ケアシステムの構築には庁内メンバーだけの事業展開には限界があるため、引き続き地域を巻き込む動きが必要

令和4年度の取組

令和4年度は主に以下の取組を予定しています。

1 長期入院者の地域移行実現のための取組

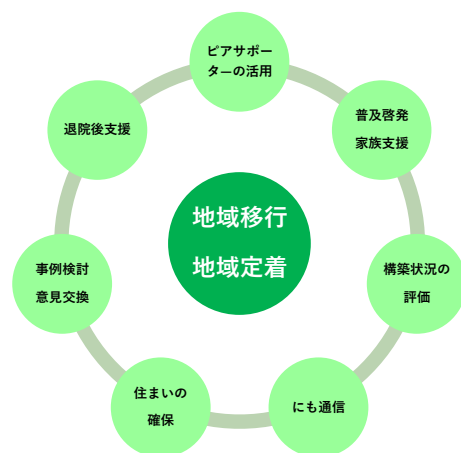
- ・長期入院患者やスタッフ向けにピアサポーターを活用した普及啓発活動の実施
- ・地域の相談支援事業所と地域移行に向けた情報共有や意見交換を行う等、連携を強化

2 アウトリーチに関する研修会の開催

多様なアウトリーチの考え方や定義を押さえ、各機関の実践について学べる研修会の開催

3 事例検討会を通じた顔の見える関係づくりと好事例の共有

既存の場（キーステーションや地域包括支援センターなど）を活用した関係づくりと相互理解の機会を創出



にも包括は支援機関の皆さまや地域の人たちとともに創り上げていくものです。

事務局では、地域で取り組んでいる活動や耳より情報、好事例などを広く募集しています。

電話でもメールでも構いません。ご意見・ご感想も含めてお待ちしております!!

<精神保健福祉課> ☎ 042-769-9813
✉ seishinhoken@city.sagamihara.kanagawa.jp